

## 「広島平和の旅」報告集発行にあたって

西東京市は、合併と時を同じくして、平成 13 年 1 月 21 日に「西東京市平和推進に関する条例」を制定しました。翌年の平成 14 年 1 月 21 日には、「非核・平和都市宣言」を行い、毎年 4 月 12 日の「西東京市平和の日」を始めとするさまざまな機会に、戦争体験を風化させないよう次世代に継承する取組みや、平和の意義を考えていく事業を行っています。

被爆都市へ市民を派遣する事業は、平和事業の推進・啓発活動の一環として、平成 13 年度から実施しています。

広島・長崎への原爆投下、そして終戦から 72 年が経過し、戦争を知る世代が少なくなり、戦争の記憶が薄れようとしています。

今年は 8 人の市民の方々が広島を訪れ、平和記念式典への参列をはじめ、原爆ドームや平和記念資料館の見学、被爆体験者の講話などをおして、原爆や戦争がもたらす悲惨さや平和の大切さ、命の尊さについて理解を深め、また、この時期に広島を訪れることの意味を改めて考えるなど、多くの体験を持ち帰りました。

この報告集は、旅の様子や参加者の皆さんが得たことを多くの方に共有していただけるようまとめたものです。この報告集が、平和を考えるきっかけになれば幸いです。

平成 29 年 8 月

西東京市

## 平和宣言

皆さん、72年前の今日、8月6日8時15分、広島の上に「絶対悪」が放たれ、立ち昇ったきのこ雲の下で何が起こったかを思い浮かべてみませんか。鋭い閃光がピカーッと走り、凄まじい放射線と熱線。ドーンという地響きと爆風。真っ暗闇の後に現れた景色のそこかしこには、男女の区別もつかないほど黒く焼け焦げて散らばる多数の屍(しかばね)。その間をぬって、髪は縮れ真っ黒い顔をした人々が、焼けただけ裸同然で剥(は)がれた皮膚を垂らし、燃え広がる炎の中を水を求めてさまよう。目の前の川は死体で覆われ、河原は火傷(やけど)した半裸の人で足の踏み場もない。正に地獄です。「絶対悪」である原子爆弾は、きのこ雲の下で罪のない多くの人々に惨(むご)たらしい死をもたらしただけでなく、放射線障害や健康不安など心身に深い傷を残し、社会的な差別や偏見を生じさせ、辛うじて生き延びた人々の人生をも大きく歪めてしまいました。

このような地獄は、決して過去のものではありません。核兵器が存在し、その使用を灰(ほ)のめかす為政者がいる限り、いつ何時、遭遇するかもしれないものであり、惨(むご)たらしい目に遭(あ)うのは、あなたかもしれません。

それ故、皆さんには是非とも、被爆者の声を聞いてもらいたいと思います。15歳だった被爆者は、「地獄図の中で亡くなっていった知人、友人のことを思(しの)ぶと、今でも耐えられない気持ちになります。」と言います。そして、「一人一人が活かされていることの有難さを感じ、慈愛の心、尊敬の念を抱いて周りに接していくことが世界平和実現への一歩ではないでしょうか。」と私たちに問い掛けます。

また、17歳だった被爆者は、「地球が破滅しないよう、核保有国の指導者たちは、核抑止という概念にとらわれず、一刻も早く原水爆を廃絶し、後世の人たちにかけてがえのない地球を残すよう誠心誠意努力してほしい。」と語っています。

皆さん、このような被爆者の体験に根差した「良心」への問い掛けと為政者に対する「誠実」な対応への要請を我々のものとし、世界の人々に広げ、そして次の世代に受け渡していこうではありませんか。

為政者の皆さんには、特に、互いに相違点を認め合い、その相違点を克服するための努力を「誠実」に行っていただきたい。また、そのためには、核兵器の非人道性についての認識を深めた上で、自国のことのみで専念して他国を無視することなく、共に生きるための世界をつくる責務があるということを自覚しておくことが重要です。

市民社会は、既に核兵器というものが自国の安全保障にとって何の役にも立たないということを知り尽くし、核を管理することの危うさに気付いてもいます。核兵器の使用は、一発の威力が72年前の数千倍にもなった今、敵対国のみならず自国をも含む全世界の人々を地獄へと突き落とす行為であり、人類として決して許されない行為です。そのような核兵器を保

有することは、人類全体に危険を及ぼすための巨額な費用投入にすぎないと言って差し支えありません。

今や世界中からの訪問者が年間 170 万人を超える平和記念公園ですが、これからもできるだけ多くの人々が訪れ、被爆の実相を見て、被爆者の証言を聴いていただきたい。そして、きのご雲の下で何が起こったかを知り、被爆者の核兵器廃絶への願いを受け止めた上で、世界中に「共感」の輪を広げていただきたい。特に、若い人たちには、広島を訪れ、非核大使として友情の輪を広げていただきたい。広島は、世界の人々がそのための交流をし、行動を始める場であり続けます。

その広島が会長都市となって世界の 7,400 を超える都市で構成する平和首長会議は、市民社会において世界中の為政者が、核兵器廃絶に向け、「良心」に基づき国家の枠を超えた「誠実」な対応を行えるような環境づくりを後押ししていきます。

今年 7 月、国連では、核保有国や核の傘の下にある国々を除く 122 か国の賛同を得て、核兵器禁止条約を採択し、核兵器廃絶に向かう明確な決意が示されました。こうした中、各国政府は、「核兵器のない世界」に向けた取組を更に前進させなければなりません。

特に、日本政府には、「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う。」と明記している日本国憲法が掲げる平和主義を体現するためにも、核兵器禁止条約の締結促進を目指して核保有国と非核保有国との橋渡しに本気で取り組んでいただきたい。また、平均年齢が 81 歳を超えた被爆者をはじめ、放射線の影響により心身に苦しみを抱える多くの人々に寄り添い、その支援策を一層充実するとともに、「黒い雨降雨地域」を拡大するよう強く求めます。

私たちは、原爆犠牲者の御霊に心からの哀悼の誠を捧げ、世界の人々と共に、「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向けて力を尽くすことを誓います。

平成 29 年（2017 年）8 月 6 日

広島市長 松井 一實

## 平和への誓い

原子爆弾が投下される前の広島には、  
美しい自然がありました。  
大好きな人の優しい笑顔、温もりがありました。  
一緒に創るはずだった未来がありました。  
広島には、当たり前前の日常があったのです。

昭和20年（1945年）8月6日 午前8時15分、  
広島は、焼け野原となりました。  
広島を失ったのです。  
多くの命、多くの夢を失ったのです。  
当時小学生だった語り部の方は、  
「亡くなった母と姉を見ても、涙が出なかった」と語ります。  
感情までも奪われた人がいたのです。  
大切なものを奪われ、心の中に深い傷を負った広島の人々。

しかし、今、広島は人々の笑顔が自然にあふれる街になりました。  
草や木であふれ、緑いっぱいの街になりました。  
平和都市として、世界中の人に関心をもたれる街となりました。

あのまま、人々があきらめてしまっていたら、  
復興への強い思いや願いを捨てていたら、  
苦しい中、必死で生きてきた人々がいなければ、  
今の広島はありません。

平和を考える場所、広島。  
平和を誓う場所、広島。  
未来を考えるスタートの場所、広島。

未来の人に、戦争の体験は不要です。  
しかし、戦争の事実を正しく学ぶことは必要です。

一人一人の命の重みを知ること、互いを認め合うこと、  
まっすぐ、世界の人々に届く言葉で、  
あきらめず、粘り強く伝えていきます。  
広島の子どもの私たちが勇気を出し、心と心をつなぐ架け橋を築いていきます。

平成29年(2017年)8月6日

こども代表 広島市立大芝小学校 6年 竹舛 直柔  
広島市立中筋小学校 6年 福永 希実

## 参加者・旅程・事前学習会・旅先での様子

### 参加者

○石井 眞弓さん ○徳永 恵美子さん ○大橋 慎さん ○清水 信博さん  
○石井 美鈴さん ○徳永 絢音さん ○大橋 魁さん ○長谷川 淳子さん

計8人

### 旅程

○1日目 8月5日(土)

時間	内容
8:40	東京駅より新幹線で広島へ
12:41	広島駅到着
13:15	原爆ドーム、爆心地、原爆の子の像見学
14:00	広島平和記念資料館見学
16:10	被爆体験者による講話

○2日目 8月6日(日)

時間	内容
8:00	平和記念式典参列、献花
10:00	本川小学校平和資料館見学
14:35	広島駅より新幹線で東京へ
18:33	東京駅到着 解散

### 事前学習会

7月24日(月) 午後2時～

広島平和の旅が、より意義深いものになるように、事前学習会を行いました。

事前学習会では、旅の主旨、行程、報告会などについての説明に加え、「非核・平和をすすめる西東京市民の会」会長の鈴木さんを講師に招き、広島と長崎に落とされた原爆について話していただきました。

参加者の方々は、この事前学習会により、「広島平和の旅」の趣旨や目的への理解をよりいっそう深めたようでした。

### 旅先での様子

8月5日、8名の参加者は、東京駅に集まり、様々の思いを抱きつつも広島に向かう新幹線の車中では和やかに過ごしていました。広島に到着すると、広島の独特な蒸し暑さに迎えられ、一同からは、アツい一言が漏れました。休む間もなく、路面電車で平和記念公園へ移動し、崩れかけた瓦礫がそのまま残る原爆ドームに圧倒され、72年前のあの日に起こったことを想像させられる爆心地、



そして原爆の子の像では平和への思いを込めて鐘を鳴らしました。

被爆から 70 年以上経ってもなお、この地を訪れる人は多く、様々な国籍の方に混じり広島平和記念資料館に向かいました。資料館は、改装工事を行っており、リニューアルした東館のみの見学となりましたが、被爆した遺品の展示に加え、映像やタッチパネルを用いて原爆の被害などが紹介されており、とても見ごたえのある展示となっていました。参加者は大勢の方に混じりこの資料館で多くのことを学びました。

広島平和記念資料館から原爆被害者福祉センター広島平和会館に移動し、「広島県被団協・被爆を語り継ぐ会」の山根和子さんの被爆の体験を伺いました。山根さんは 2 歳の時に被爆されたため、当時の記憶がなく被爆者としての意識は全くなかったそうですが、結婚される時になり初めて自分が被爆者であることを強く意識させられたと、涙ぐみながらお話をしていました。様々な経験をされた山根さんは、現在、広島市の観光ボランティアガイドや平和記念資料館のピースボランティアに参加されています。

翌、6 日は式典に参列する方、献花用の花やプログラムを配るボランティアなど大勢の方で広島平和記念公園は溢れていました。式典には、82 か国もの国の代表、そして、多くの一般の外国の方が参列されていました。

式典の開会と同じくして原爆死没者の名簿が奉納され、原爆が投下され



た午前 8 時 15 分に平和への祈りと被爆者への慰霊の念を込めて、参列者一同が黙とうを捧げました。

広島市長による「平和宣言」、こども代表による「平和への誓い」を聞き、被爆地広島で平和への思いを新たにしました。そして式典で発せられた平和への思いと決意のメッセージを受け止めながら、式典終了後には犠牲となった方々のご冥福と平和への願いを込めて慰霊碑に献花しました。

その後、被爆した状態のまま校舎の一部が保存され、原爆の被害を今に伝える本川小学校平和資料館を訪れ、爆心地に最も近い学校として大きな被害を受けたことがわかる写真や遺物などを見学しました。

2 日間とも晴天に恵まれ、暑さ厳しい中でしたが、被爆直後の広島を想像しつつ、路面電車の走る音、道を行き交う車の音、蝉の声、そして人々の暮らす音がする今の広島を各自が心に刻み、全行程を終えました。

## 被爆体験者による講話

講師 山根 和子さん

日時 平成 29 年 8 月 5 日(土) 午後 4 時～午後 5 時

山根さんは、2 歳の時、爆心地から 1.5 km の楠木町一丁目の自宅で被爆されました。その時の爆風で自宅は一瞬にして倒壊し、3 歳上のお兄さんが亡くなりました。お父さんも、お母さんも、亡くなったお兄さんのこと、原爆のことを家族に話すことはなかったそうです。

そんな山根さんは 23 歳の時に、今のご主人と結婚しようと思い、ご主人の両親に会いに行かれた際、不意に「広島で原爆にあった娘さんを嫁にすることは出来ない。障害を持った子どもが生まれてきたらどうするの。」という言葉を目にし、初めて自分が被爆者であることを思い知らされたそうです。しかし、ご主人の強い思いの



おかげで半年後に結婚へと話が前進し、結婚することができたそうです。その後、元気な子供も授かり、何事もなく幸せな生活を送られていました。

45 歳の時、ご自身のお母さんの手記が地元の新聞に掲載されていたのを目にされました。被爆した時に家の下敷きになっていたお兄さんを助けることができず、目の前で死なせてしまった。今でもそのことを何度も夢に見て目が覚めるという内容で、その記事を読んだ山根さんは非常にショックを受け、お母さんに原爆が落ちた時の事を尋ねたそうです。お母さんが当時の話をしてくれたのはその 1 回だけだったそうですが、その経験もあり、焼け野原から復興してきた緑豊かな平和都市、広島を伝えたいと広島市の観光ボランティア、平和記念資料館のピースボランティアの活動をされています。

被爆した後、逃げた方向により亡くなってしまった方、生き続けられた方がいる。ちょっとしたことがこんなにも違う。「人の命は紙一重」と山根さんは、話されました。

そして、被爆体験者として伝えたいことは、家族を大切にしたい。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんとしっかり話をしたい。周りの友だちと思いやりを持って、助け合って、楽しい生活を送りたい。それが原点で大きく繋がり、広がっていくと誰とでも仲良くできると思います。そして、二度と戦争はしませんといえる人になって欲しい。絶対戦争はしませんといえる人になって欲しい。そういった人生を送りたいとおっしゃっていました。

参加者は、この旅でしか感じとれなかった原爆の被害の悲惨さ、復興した広島街、そして、平和でいるために自分ができることを感じたようでした。

## 主な見学先ガイド

### ●平和記念公園

戦後、世界の恒久平和の願いを込めて、この記念公園が建設されました。公園内には、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館などの施設や、原爆死没者慰霊碑をはじめとするモニュメントがあります。



### ●広島平和記念資料館

原爆の被害の実態を伝える資料を収集・展示し、広島で起こったこと、平和の尊さと核兵器の脅威を紹介しています。

【HP <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/>】



### ●原爆ドーム …世界遺産

チェコの建設家ヤン・レツルの設計により、大正4年（1915年）に開館したこの建物は、被爆前は「広島県産業奨励館」でした。原爆は、ここから南東160mの上空約580mで炸裂し、建物は廃墟の残骸となりました。平成8年（1996年）、ユネスコの世界遺産に登録されました。

【HP <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/dome/index.html>】



●原爆死没者慰霊碑

(公式名：広島平和都市記念碑)

平和記念公園のほぼ中央にあるこの慰霊碑は、原爆犠牲者の霊を雨露から守る願いを込めて、家型ハニワに設計されました。石室には、原爆死没者名簿が納められています。



●原爆の子の像

この像は、原爆性白血病により 12 歳で亡くなった佐々木禎子さんの霊を慰め、世界平和をよびかけるため、昭和 33 年（1958 年）に建設されました。たくさんの千羽鶴が捧げられています。

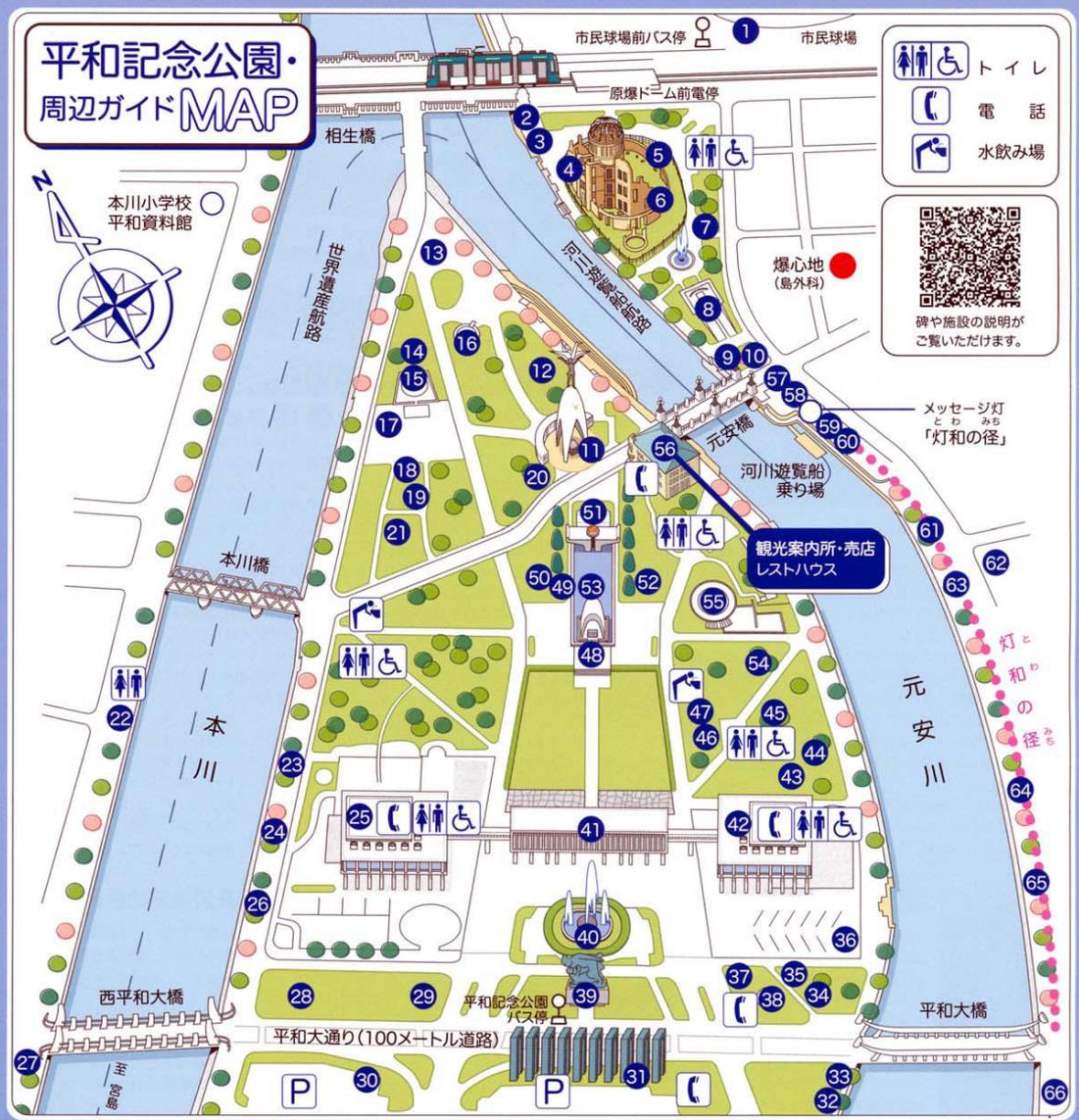


●本川小学校平和資料館

爆心地にもっとも近い学校として、原爆の被害を受けた状態をそのまま残し、被爆の「証」として保存されています。「展示室」には、被害の様子が載った写真や、被爆した遺物があります。



# 平和記念公園・周辺ガイドMAP



- |                    |                     |                        |                     |
|--------------------|---------------------|------------------------|---------------------|
| 1 世界の子ども平和像        | 16 韓国人原爆犠牲者慰霊碑      | 35 ノーマン・カズンズ氏記念碑       | 51 平和の灯             |
| 2 鈴木三重吉文学碑         | 19 被爆した墓石(慈仙寺跡の墓石)  | 36 朝鮮民主主義人民共和国帰国記念時計   | 52 祈りの像             |
| 3 旧相生橋碑            | 20 平和の泉             | 37 平和記念ポスト             | 53 平和の池             |
| 4 中国四国土木出張所職員殉職碑   | 21 平和乃親音像           | 38 平和の塔                | 54 旧天神町北組慰霊碑        |
| 5 広島県地方木材統制(株)慰霊碑  | 22 常夜燈              | 39 嵐の中の母子像             | 55 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 |
| 6 原爆ドーム            | 23 義勇隊の碑            | 40 祈りの泉                | 56 レストハウス(観光案内所・売店) |
| 7 原民喜詩碑(佐藤春夫の詩碑の記) | 24 広島二中原爆慰霊碑        | 41 平和記念資料館(本館)         | 57 広島郵便局職員殉職碑       |
| 8 勤労学徒慰霊塔          | 25 広島国際会議場          | 42 平和記念資料館(東館)         | 58 平和祈念碑            |
| 9 広島市道路元標          | 26 広島市商・造船工業学校慰霊碑   | (資料館東館内)ローマ法王平和アピール碑   | 59 原爆犠牲建設労働者・職人之碑   |
| 10 花時計             | 27 慈母の像             | 43 被爆したアオギリ            | 60 「平和の祈り」句碑        |
| 11 原爆の子の像          | 28 原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑 | 44 全損保の碑               | 61 原爆犠牲ヒロシマの碑       |
| 12 平和の石塚           | 29 平和の像(若葉)湯川秀樹歌碑   | 45 峠三吉詩碑               | 62 石炭関係原爆殉難者慰霊碑     |
| 13 平和の時計塔          | 30 友愛碑              | 46 被爆したハマユウ            | 63 広島瓦斯(株)原爆犠牲者追憶之碑 |
| 14 遭難犠牲者慰霊供養塔      | 31 平和の門             | 47 材木町跡碑               | 64 広島県農業会原爆物故者慰霊碑   |
| 15 原爆供養塔           | 32 旧天神町南組慰霊碑        | 48 原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑) | 65 毛髪碑              |
| 16 平和の鐘            | 33 広島市立高女原爆慰霊碑      | 49 平和祈念像(草野心平の詩碑)      | 66 被爆勤労学徒慰霊慈母音像     |
| 17 平和の石燈           | 34 マルセル・シュノー博士記念碑   | 50 菩提樹の碑               |                     |

観光のお問い合わせ: 広島市観光案内所 電話:082-247-6738 / ファクス:082-247-6917 www.hiroshima-navi.or.jp